

アイヌの音楽をとおして地域の歴史や文化を考える

ジュクン・ミュージック

活動の目的

岡山県内の子どもたち、特に中山間部の子どもたちに、本物の質の高い芸術文化に直接触れてもらう。今回は海外などでも評価の高いアイヌのスーパーstar OKIと、アイヌの伝統歌唱を現代に蘇らせ公演などを展開している女性ボーカルグループMAREWREWのリーダー Rekpoの二人に来てもらい、普段聞く機会の少ないアイヌの音楽をライブで聴いてもらうと共に、特に小・中学生に向けて2人から直接アイヌの話をきく会を催し、それを通じてアイヌについての理解を深める。

活動の内容及び経過

アイヌの二人は1月25日に北海道は当麻町より来岡。26日真庭市勝山「ひしお」にて公演（大人34名、子ども5名）。27日岡山市「蔭涼寺」にて公演（大人50名、子ども11名）。29日に有漢公民館にて地域の小・中学生を集めて公演とアイヌに関するお話会（有漢西小学校、有漢東小学校、有漢中学校、各20名、計60名+教職員8名）。30日有漢公民館にて公演（大人85名、子ども25名）。それぞれの公演では、前半は二人によるアイヌの伝統的な音楽。後半は小谷野と有漢町在住のパーカッショニスト、ハブヒロシも加わり、樺太アイヌに伝わっていた物語を演じた。

活動の成果・効果

公演内容に関しては各地で大変な好評を得、初めて触れたアイヌの音楽に興味を持った人、アイヌの現代社会の中でのあり方に関心を持った人、様々な感慨を持って帰ってもらえたように思う。勝山では大雪やインフルエンザの影響もあって、来るはずだった子どもたちが何人も来られなくなったりしたが、それでも5名の子どもたちが特に芝居仕立ての部分を食べ入るように見つめていたのが印象的だった。また、有漢町では昨年度より地域おこし協力隊として赴任して来たハブヒロシ氏と仲間の協力隊の協力もあって、小中学校の生徒たちを公民館に集めてのライブとアイヌに関するお話の会も実現。高梁市有漢西小学校、有漢東小学校、有漢中学校の生徒たちそれぞれ20名ずつの60名の子どもたちにアイヌの人から直接アイヌの歴史や文化について、そして現代に生きるアイヌについての話を聞く機会を作ることができた。ここに参加した生徒たちの多くが、翌日も一般向けの公演を観に来てくれ、関心の高さが窺えた。今回公演を行った各所で小学生以下無料としたため、多くの子どもたちも観に来てくれたが、特に後半の物語の部分で子どもたちが静かに食い入るように見つめていて、質の高い本物の芸術に直接触れることは、大きな影響力がある



のだということを肌で感じることができた。

今後の課題と問題点

様々なスケジュール調整を経て1月末の開催となったが、特に県北の子どもたちに来て欲しいという希望があった中、雪やインフルエンザの影響で予約していたにもかかわらず来ることのできなかった子どもたちも多かったのが残念ではあった。岡山市公演でもインフルエンザによるキャンセルが11名にのぼり、仕方のないこととはいえ、もう少し集客ができればよかったと思う。有漢町公演ではやはり雪の心配があったが、当日問題なかったため、県南からも多くの方々が訪れてくれた。

開催時期については賛否両論もあるが、よりリスクの少ない時期を選ぶのも一つの解決方法かもしれない。ただ、アイヌの文化という視点からは冬の方が雰囲気は味わえるので、その辺りのバランスも大切にしながら今後の企画を進めていきたい。

また、当初は勝山小学校にも訪問して学校公演とお話会をすることを考えていたが、話を進めていた校長先生の異動に伴い、今回に関しては話がうまく繋がらなくなってしまったのが残念ではあった。地方公共団体などでもよくあることだが、異動が多く、今まで培って来た関係が必ずしもそのまま持続される訳ではないケースもあり、特に文化教育といった場においては何年も時間をかけてじっくり育てていくことも大切なことだと日頃感じているので、その点で今後より良い関係を持続的に築いていくための方策を考えていきたい。

- 代表者：小谷野哲郎 ●所在地：真庭市勝山
- TEL：080-4195-1811 ●E-MAIL：jukung@me.com
- URL：urotsute.com
- 設立年：2001年 ●メンバー数：5名